

令和4年3月11日

保護者の皆様
地域の皆様

さくらの学び舎 世田谷区立笹原小学校
校長 後 藤 真 司

令和4年度 学校改善策について

今年度の学校評価及び学校自己評価を受け、令和4年度は、笹原小学校の教育目標「明るく たくましい子」「よく考え くふうする子」「やさしく 助け合う子」の具現化へ向け、3つの重点目標を設定し、学校改善を図ってまいります。また、重点目標以外の内容についても、今後の方針や方策を記載しましたのでお知らせいたします。

来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

1 学校教育目標の達成に向け、引き続き、以下の3点を重点目標に設定して取り組みます。

- (Ⅰ) 主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成
- (Ⅱ) 多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成
- (Ⅲ) 自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成

2 重点目標Ⅰ：「主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成」に向けて

- ◆学習指導要領及び世田谷区教育要領の趣旨を踏まえた学習指導を行い、新しい教育の取組「キャリア・未来デザイン教育」の実現を目指します。その中では、主体的・対話的で深い学びにつながる「せたがや探究的な学び」に向けた支援、子ども一人一人がキャリア形成を図る支援が学校教育で重要となります。「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の育成を目指し、子どもたちが自己肯定感を高め、豊かな人間形成を図れるよう育成に務めていきます。
- ◆主体的な学びと思考力・判断力・表現力の育成に向け、下記の内容について取り組んでいきます。
 - 「めあて学習」を充実させ、見通しをもって学習活動に取り組めるようにするとともに、自分の学習を振り返る活動を計画的に位置付け、思考力・判断力・表現力の育成に努めます。
 - 算数科で、3年生～6年生では、算数少人数指導担当教員が加わり、学級数+1のグループ編成で、全単元・全時間で習熟度別の授業を展開します。また、1年生・2年生では講師が学級授業に加わり学級担任とのTT体制で授業を展開します。子どものニーズに応え、一人一人の学力の向上を図るとともに、個別学習や協働学習を通して、自ら考え、判断し、友達と話し合い、考える活動を通して、自ら問題解決に取り組む学習を進めます。
 - 学校図書館司書（民間委託業者）と連携・協働し、学校図書館を「読書」「学習」「情報」の3つのセンター機能面から整備し、一層の活用を図ります。各学期に読書週間を設け、本に親しみ、読書活動に取り組み、ことばの力を高める支援を進めていきます。
 - 子どもたちが学習への興味・関心を高め、学習内容の理解を深められるよう、ICTを効果的に活用し、「ことばの力を高める言語活動」を充実させ、子どもたちの個別学習・協働学習・一斉学習を支援していきます。
 - 子ども一人1台の学習用タブレット端末を学校や家庭で効果的に活用し、オンラインを活用した双方向型の学習形態、個別最適化を図る学習形態を視野に入れた授業づくりを進めます。
 - 朝読書の時間（火曜日・水曜日・金曜日の朝の時間）を確保し、読書の機会を広げ、ことばや

本に親しむ活動を取り入れます。

○家庭と連携して計画的に家庭学習を進め、一人一人に応じた支援を、一層進めていきます。

○校内研究では、今年度の研究を土台に、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現と教員の授業力向上を目指し、引き続き、生活科・理科を中心に取り組んでいきます。

2 重点目標Ⅱ：「多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成」に向けて

◆これからの国際化や変化の著しい社会を生き抜くためには、多様性を認め合い、相手を尊重し、望ましい人間関係を構築することが重要です。コミュニケーション能力や社会性を高め、共生する社会の一員としての役割を果たす力を身に付けることを願っています。学校では、学級・学年を中心に、笹の子班活動・委員会活動・クラブ活動などの集団を形成する中で、将来に向けた数々の学びやキャリア形成を図っていきます。よりよい集団をつくり、その中で自己実現を図り、自己肯定感を高め、輝く子どもたちを育てることを目指していきます。

◆多様性を認め合い、よりよい集団づくりに向け、下記の内容について取り組んでいきます。

○毎月1週間の「あいさつ週間」を設定し、子どもたち・教職員はもちろん、保護者・地域の皆様にも協力いただき、校内だけでなく地域においても、気持ちの通い合うあいさつを進めていきます。担当学年を割り振り、標語づくりやあいさつキッズとしての活動に取り組みます。

○教職員も、すすんで明るく元気に爽やかなあいさつを率先して行っています。

○感染対策のためマスク着用が続く中、大きな声ではなく、心を通わせるあいさつ、気持ちのよいあいさつをすることを全校で心がけ、日常のあいさつを大切にしています。

○一昨年度からの取組『「ふわふわ言葉」を大切にしよう』を継続し、美しいことば・相手を思いやることばを通して、「思いやりのある子ども」の育成に力を入れていきます。

○各教科等の授業はもちろん、様々な行事や教育活動等で「人とのかかわり合う活動」を計画的に取り入れます。保護者・地域の方々にも協力をお願いしていきます。

○集団活動においても、自分のめあてをもって活動に取り組み、その後の振り返りを次につなげ、よりよいものにしようとする向上心を育む指導（キャリア・パスポート等）に取り組めます。

3 重点目標Ⅲ：「自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成」に向けて

◆世田谷区立小中学校全校で、体力向上・健康推進に向けた「世田谷3快プログラム ～快眠・快食・快運動～」の取組が進められています。本校では、現在取り組んでいる体力向上・健康推進における特色ある教育活動をより一層充実させ、すすんで体を動かす運動や遊びとともに、食事や睡眠など日常生活との関連を図りながら取り組んでいます。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大とともに様々な制約が続くことが予想されますが、感染対策を講じるとともに工夫を重ね、健康で楽しい生活を送ることができることを目指していきます。

◆自分の健康に関心をもち、学校生活を送るため、下記の内容について取り組んでいます。

○3密を回避し運動する機会を確保するため、休み時間や元気タイムの活動場所を工夫します。また、活動内容や方法を工夫し、すすんで体を動かす機会と場をつくっていきます。

○年間を通して「元気タイム（月1回）」を設定し、学年や学級の友達とともに運動や運動遊びを楽しみます。また、全学年で長縄跳びに年間を通して取り組み、みんなで楽しむ機会を体験し、遊びの日常化につなげます。

○長縄跳び週間・短縄跳び週間・持久走週間を設け、めあてをもって運動に親しみ、挑戦する楽しさや達成する楽しさなどを体感し、運動への意欲と日常化につなげていきます。

○学級遊びや笹の子遊び（縦割り班遊び）などを取り入れ、自分たちで遊ぶ・運動する機会をつくり、すすんで体を動かし、運動に親しむ取組を進めます。

- 体育学習では、感染対策を講じ、運動内容と運動量の確保を考慮して取り組みます。
- 体力・運動能力等調査を実施し、運動面や体力面での課題を確認し、自ら高めたい内容について確認し、めあてをもち運動に取り組むことの意識付けを図っていきます。
- 学級指導や保健指導、保健学習などを通して、けがの防止について指導を充実させます。
- 感染予防の意識をもち、自分の健康状況を把握するとともに、新しい生活様式の中で、適切に実践できるよう支援をしていきます。

4 「地域とともに子どもを育む」ため、下記の内容について取り組んでいきます。

- 子どもたちの安全を確保するため、毎月1回、下校指導日を設定し、通学路等での安全指導を行うとともに、地域の様子を見る機会とします。
 - 昨年度からの始まった新しい教育の取組「キャリア・未来デザイン教育」を推進し、「さくらの学び舎」の桜丘中学校・桜丘小学校・桜丘幼稚園との連携を図り、保護者・地域と協働し、子どもたちの育成を図ります。
 - 世田谷版「スタートカリキュラム」を活用して、新1年生の円滑な学校生活への定着を図ります。また、区立桜丘幼稚園との交流活動、近隣保育園等との連携を通して、「アプローチカリキュラム」を具体化し、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図ります。
 - 保護者・地域と連携した行事である「夏・秋祭りでの表現舞踊発表」「子ども縁日」「商店街と連携したペナント製作」「児童館・区民センターまつり」「どんど焼き」「地域の方々との交流」「もちつき会」などを通して、子どもたちの体験活動の充実を図ります。
 - 学校支援コーディネーターと連携し、保護者・地域の教育力を活用した学習活動を取り入れていきます。
 - 学校運営委員会が核となり保護者・地域の協力を得て実施する体験学習や体験活動を、今年度までの取組を土台に、継続して実施していきます。
- (例)「キャリア教室」「ささっちガーデンプロジェクト」「漢字検定」など

5 学校関係者評価委員会報告書を受けて

昨年秋に実施した学校評価アンケートを学校関係者評価委員会で分析・考察していただき、学校関係者評価委員会報告書としてまとめていただきました。ありがとうございました。

報告書の内容、今後へ向けての提言を真摯に受け止め、来年度の教育課程・学校経営方針及び教育活動の中で活かし、教育活動の充実に取り組んでまいります。

特に、次の3点を大切にして、来年度は取り組んでまいります。

(1) 重点目標を継続し、子どもたちの育成に取り組めます

- 来年度も3つの重点目標を継続し、子どもたちの育成に取り組めます。

(2) よりよく学校生活が送れるように

- 子どもたちにとって「楽しい学校」であることを目指し、教育活動の充実・環境づくりを進めます。また、子どもたちの思いや願いを受け止め、学習指導や生活指導に活かし、よりよく学校生活が送れるよう支援していきます。

(3) 「共に子どもを育てる」ことを目指した学校運営と保護者・地域との連携の推進

- 意図的・計画的な教育活動が展開できるよう、全教職員で創意工夫を重ね、「チーム笹原」として組織的・協働態勢で、信頼と誇りのもてる学校づくりに取り組みます。また、「共に子どもを育てる」視点から保護者・地域の皆様と情報共有を図り、学校運営や教育活動へのご理解とご支援をいただき、引き続き、「地域とともに子どもを育てる教育」を進めます。よろしくお願いいたします。